

769. Bessel 微分方程式 = 導カレル 微分方程式

福原 満洲 雄 (九大)

Bessel 微分方程式

$$(1) \quad \frac{d^2 z}{dx^2} + \frac{1}{x} \frac{dz}{dx} + \left(1 - \frac{n^2}{x^2}\right) z = 0$$

= 於テ $y = xz'$ ト置ケバ

$$(2) \quad \frac{d^2 y}{dx^2} - \frac{x^2 + n^2}{x^2 - n^2} \frac{1}{x} \frac{dy}{dx} + \left(1 - \frac{n^2}{x^2}\right) y = 0$$

ヲ得ルガ、逆ニ或ル方程式、例ヘバ (2) が與ヘラレタトキ、コレガ Bessel 微分方程式 (1) ヲ解クコトニ帰着サレルカ否カヲ判断スル一般的方法ガアルカトイフコトガ伊藤誠氏ノ御質問ノ主意デハナイカト思フ、コノ小論ガ多少ヲモ御参考ニナレバ幸デアアル。

1° Bessel 微分方程式ノ特性。ソノ特異点ハ $x=0$, ∞ ガケデアリ、前者ハ確定特異点、後者ハ不確定特異点デアアル、 $x=0$ ニ於ケル決定方程式ノ根ハ $\pm n$ デアル、 $x=\infty$ ニ於テハ漸近的ニ

$$y \sim e^{\pm ix} x^{-\frac{1}{2}} [1 + \dots]$$

ト展開サレル解ガ存在スル。逆ニコレガケノ性質ヲ持ツ二階線型微分方程式ハ Bessel 微分方程式デアアル。

2° 微分方程式 (2)ノ特異点。 $x=0$, $\pm n$, ∞ ガケデアツテ、 0 , $\pm n$ ハ確定特異点、 ∞ ハ不確定特異点デアアル。

$x=0$ = 於ケル決定方程式ノ根ハ Bessel 微分方程式ト同
ジク $\pm n$ デアル。 $x=n$ = 於ケル決定方程式ノ根ハ $0, 2$ デ
アル。 0 = 對應スル解ヲ求メテ見ルト

$$y = 1 + \frac{2}{3n}(x-n)^3 + \dots$$

テ對數項ハ現ハレナイ、 n ヲ $-n$ 置換ヘテモ方程式ノ形ハ
変ヲナイカラ $x=-n$ = 於ケル決定方程式ノ根ハ $0, 2$ デ 0
= 對應スル解ハ

$$y = 1 - \frac{2}{3n}(x+n)^3 + \dots$$

テアル、 $x=\infty$ = 於テハ漸近的 =

$$y \sim e^{\pm ix} x^{\frac{1}{2}} [1 + \dots]$$

ト展開サレル解ガ存在スル。

3° 微分方程式 (2) ガ Bessel 微分方程式 (1) = 導カ
レル理由、 $x=n$ = 於テ (2) ハ二ツノ解

$$y = (x-n)^2 + \dots, \quad y = 1 + \frac{2}{3n}(x-n)^3 + \dots$$

ヲ持チ、ソレニ對シテ

$$y' = 2(x-n) + \dots, \quad y' = \frac{2}{n}(x-n)^2 + \dots$$

トナル、依ツテ $\varphi_1(x)$ ガ $x=n$ 正則デ 0 トナラナイ函数
ナラバ

$$z = \frac{\varphi_1(x)}{x-n} y'$$

ガ満足スル微分方程式ハ二階線型デ、 $x=n$ ヲ確定特異点ト

シテ持テ、ソコニ於ケル決定方程式ノ根ハ0, 1 デアル。而
モ0ニ對應スル解ノ展開式中ニ零級項ハ現ハレナイ。

從ツテ $x=n$ ハ最早ノ特異点デハナイ、 $x=-n$ ニ於
テモ同様デアルカラ、 $\varphi(x)$ ガ $x=\pm n$ ニ於テ正則デ0トナ
ラナイ函数ナラバ

$$y = \frac{\varphi(x)}{x^2 - n^2} y'$$

ガ満足スル微分方程式ハ二階線型デ、 $x=\pm n$ ハ最早ノ特
異点デハナイ。

$x=0$ ニ於テ(2)ハ二ツノ解

$$y = x^n [1 + \dots], \quad y = x^{-n} [1 + \dots]$$

ヲ持ツ、コレニ對シテ

$$y' = nx^{n-1} [1 + \dots], \quad y' = -nx^{-n-1} [1 + \dots]$$

トナルカラ、 $\psi_1(x)$ ガ $x=0$ ヲ0トナラナイ正則ノ函数
ナラバ

$$y = x \psi_1(x) y'$$

ガ満足スル微分方程式ハ $x=0$ ヲ確定特異点トシテ持テ、ソ
コニ於ケル決定方程式ノ根ハ $\pm n$ デアル。

$x \rightarrow \infty$ ニ於テ漸近的ニ

$$y \sim e^{ix} \cdot x^{\frac{1}{2}} [1 + \dots], \quad y \sim e^{-ix} x^{\frac{1}{2}} [1 + \dots]$$

ト展開サレル解ニ對シテハ漸近的ニ

$$y' \sim e^{ix} x^{\frac{1}{2}} [i + \dots], \quad y' \sim e^{-ix} x^{\frac{1}{2}} [-i + \dots]$$

トナル。依ツテ $\psi_2(x)$ ガ $x \rightarrow \infty$ ニ於テ正則デ0トナラナ

イ 函数 + ラバ

$$z = x^{-1/2} \psi_2(x) y'$$

ハ $x = \infty$ = 於テ 漸近的 =

$$z \sim e^{ix} x^{-1/2} [1 + \dots], \quad z \sim e^{-ix} x^{-1/2} [1 + \dots]$$

ト 展開サレル 解ヲ 持ツ。依ツテ

$$(3) \quad z = \frac{x}{x^2 - n^2} y'$$

ガ 満足スル = 階線型 微分方程式ハ $0, \pm n, \infty$ = 於テ

Bessel 微分方程式ノ 特性ヲ 満足シテ キル、ソレガ 確カ =

Bessel 微分方程式デアラバ $x = 0, \pm n, \infty$ 以外 = 特

異点ヲ 持タヌ コトヲ 確メ オバナラナイ、 $x_0 \neq 0, \pm n, \infty$ トス

レバ $x = x_0$ = 於テ (2) ハ

$$y = 1 - \frac{1}{2} \left(1 - \frac{n^2}{x_0^2} \right) (x - x_0)^2 + \dots,$$

$$y = (x - x_0) + \dots$$

ト 展開サレル 解ヲ 持ツ、前者ノ $(x - x_0)^2$ ノ 係數ハ 0 デナ

イカラ 変換 (3) = 依ツテ 得ラレル 微分方程式ハ $x = x_0$ = 於

テ

$$z = 1 + \dots, \quad z = (x - x_0) + \dots$$

ト 展開サレル 解ヲ 持ツ、依ツテ x_0 ハ 特異点デハナイ。

以上ヲ 変換 (3) ヲ 行ハバ Bessel 微分方程式トナルコ

トガ 証明サレタ。コノ 変換ハ 伊藤氏ガ 示サレタ 変換ト形ハ 異

ツテキルガ 本質的ニハ 異ツタモノデアラナイ、實際 = (3) ヲ 用

テ 微分シ、(2) ヲ 使ハバ 容易ニ $xz' = -z$ ヲ 得ル。

要スレ= 限定サレタ範囲内ノ函数ヲ使ツテーツノ線型微分方程式カラ他ノ線型微分方程式ニ移リ得ルカ否カ、移リ得ルヲバソノ変換ヲ如何ニシテ求メルカトイフ問題ト確定特異点、不確定特異点ノ理論トノ関係ハ頗ル密接デアレ。微分方程式論ノ書物ハカウ言ツタ問題相互ノ関係ニハ言及シテ居ナイガ、我々ハ各種ノ問題相互ノ関係ニモット注意ヲ拂フベキデアラウ。ソレヲ怠ル結果ハ理論ト應用ノ分離的傾向ヲ助長シ、學問全体トシテノ健全ナ發展ヲ阻害スル、デハナイカト思フ。